

家族、OBとともに記念式典

宇都宮製作 創業110周年を祝賀



150人が出席して慶年を祝賀

宇都宮製作は6日、大阪府市都島区の太閤園で創業110周年記念式典を開催した。社員への経営方針発表会に続き開かれたもので、社員とその家族、同社OB・OGを招き、約150人が出席した。

開会に当たり、大西健路社長は出席への謝辞に続け、「宇都宮製作は創業者の宇都宮宇作氏が明治36年に創業して以来、今年で110年目を迎えた。長きにわたり事業を継続してこられたのも、創業者はもとより多くの先輩社員の時代、時代のご苦労のたまもの。また、お得意様、お取引様、そして株主様の様々なご支援があったからこそ感謝申し上げる」と話し、「早いもので創業100周年の式典を開催してから10年が経った。今回は、ご家族やOBの皆様ともに110周年を喜び合い、将来に向けての夢やあるべき姿を



社員の家族とともに(右が大西社長)

創業者のルーツ愛媛県宇和町を訪問

故郷への貢献記す2つの碑

記念式典に先立つ3月1日、3日、大西社長、大西浩太郎商品事業部長らは、創業者の宇都宮宇作氏の故郷である愛媛県西予市宇和町を訪ね、同社のルーツに触れたという。



復興支援を称える頌徳碑

宇和町は八幡浜市、大洲市と宇和島市との間に位置し、南予地域の交通の要となる穀倉地帯で、日本で最初の女医・楠本イネが二宮敬作からオランダ語と西洋医学を学んだ土地でもある。宇和島周辺には宇都宮姓が今なお多い。平安時代末期から鎌倉時代前期、現栃木県の宇都宮郷出身であ

る伊予国守護・宇都宮頼綱がこの地で勢力を伸ばしたことが、宇和島の宇都宮家源流のようだ。宇和町には、宇作氏の偉業を称える石碑が2つ現存していた。宇作氏は1931年に宇和町の石城小学校の講堂新築費用を全額、さ

らに育英資金として多額の寄付をした。石城小学校には、この功績を称えた感謝の碑が残っている。残念ながら講堂自体は老朽化のため取り壊されたが、幼少時代に宇作氏から寄贈された講堂で学んだ現宇和町長と観光協会会長は同社の訪問

を心から歓迎した。また観光協会会長が幼少の頃に実際に体験した話によると1943年、扇形池の要位置付近の決壊により池の水が氾濫する水害が起きた。池の鯉が辺り一面に流れてくるほどの惨状だったが、大阪にいた宇作氏が駆けつけ全財産を投げ打つ覚悟で治水にあたった。当時は戦中で男手がなく、女性を中心に老人や子供での復旧活動を行っていたところでの偉業だったと、会長は涙ぐみながら話したという。池のすぐ傍にも、宇作氏の支援に対し感謝の碑が建てられた。

企業が足下が大きく揺らいだこともあったと聞いてきた商品が、水枕、水囊、聴診器、体温計と時代に残るような商品だ。近年は、一般生活の場から医療、食品衛生の各分野で手袋を中心とした商品を展開している。手袋については、当社のシェアが40%ほどを占めている。売上高も前期は99億円となった。今期は新たなブランド戦略にもつぎ105億円の目標を掲げている」と現況を説明し、「経済環境は厳しいが、スポーツにたどるなら団体競技で金メダルを取ることが目標にしたい。団体の金メダルを取れば、1人ひとりの胸に金メダルが輝く」としてOBや社員家族にも支援を呼びかけた。続いてOB会を代表して後藤明敏氏があいさつ。「日々の世の中の流れが、私が会社にいた頃よりも早

「今では扱う商品も変わり、流通経路も大きく変わった。時には、

「経済環境は厳しいが、スポーツにたどるなら団体競技で金メダルを取ることが目標にしたい。団体の金メダルを取れば、1人ひとりの胸に金メダルが輝く」としてOBや社員家族にも支援を呼びかけた。

開宴後は、社員とOB、OG、家族同士の語らいの中、アットホームな雰囲気となった。新入社員の紹介のほか、ビンゴ大会や社員が参加する三線の会による沖繩の歌曲演奏などのアトラクションもあり、半田強常務による三本締めで閉会するまで、にぎやかに歓談が続いた。

宇都宮製作株式会社は、おかげさまで創業110周年を迎えました。

宇都宮製作株式会社は1903年に宇都宮商店として創業して以来、このたび創業110周年を迎えました。110年の長きにわたり事業を継続できましたのも、お得意会社様、お取引会社様など業界のみなさまのおかげと、心より感謝申し上げます。わたしたち宇都宮製作は積極的な事業活動を通じ、皆さまの安全・清潔を『まもる』パートナーであり続けること、新しい価値と新たな未来を切り拓くことが、自分たちの成長とみなさまの満足に繋がる社会貢献だと認識し尽力してまいります。



Since 1903
宇都宮製作株式会社
Utsunomiya Seisaku Co., Ltd.
<http://www.u-seisaku.co.jp/>

大阪 | 〒578-0965 大阪府東大阪市本庄西1-5-1
本社 | TEL.06-6748-8468 FAX.06-6748-8469

東京 | 〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町6-7住長第2ビル6F
支店 | TEL.03-5652-5858 FAX.03-5652-5889

福岡 | 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-16-8 ITビル9F
支店 | TEL.092-441-5599 FAX.092-441-6040